

GO FLY

新北島中学校
学年通信 No51

2020.09.09.発行



編；各クラスでは席替えがおこなわれたようだな。

Y；気分転換でもあるし、席が変わることで何かが変わるというか、今までよりも何かがよくなるという期待もありますからね。

編；なるほど。で、どんなやり方でおこなわれたのかな？ 席替えの基本的な考え方というものが あるだろう！

Y；そうですね。基本的にはどのクラスもおなじで、班長を選出して、その人たちと先生の話し合いで決めるというかたちです。いちばん大切にしたことは、「しっかり授業をうけることができる体制づくり」です。

編；仲のよい人たちがとなりどうしになれば、勉強もしっかりできるじゃないかという考え方もあるようだ。

しかし、長年いろいろな席替えを観てきた経験からいって、これは通用しない。仲がよくないその他の人たちはどうなるのかという問題もある。

Y；結果に対する反論は必ずあります。かなりの部分を班長にゆだねるので、席替え後に希望どおりにいかなかつた人たちが、班長を責めるということも考えられなくもありません。視力など、配慮の必要な人たちのこともありますし・・・

編；人生、だれと、どこで、どうなるかわからん。大切なことは、席をどう決めるかということではなく、班でいっしょになった人とどれだけ協力して、よい班をつくりあげるかということではないかな。

Y；自分のことで精いっぱい、相手のことを思いやることがまだまだ発展途上の人にとっては、本能的に気の合う人を求めるでしょう。また、自分の落ち着く環境にいたいという欲求もあるようです。

編；目的に対する明確な意図を示し、しっかりと説明すれば納得してもらえるはずだ。

そもそも学級は小さな社会だ。この小さな社会が安定していることはとても大事なこと。しかし、全員がいい思いをするなんてことはまず不可能だ。いい思いをしている人がいるのは、がまんしている人がいるということになる。結果的に、そういうがまんを班長が引き受けているところもあるんじゃないかな。

Y；そうですね。多くの班長はそんな気持ちだと思います。

編；ところでYくん、キミは席替えでは、なにか配慮が必要かな？

Y；ボクは、酔いやすいので窓際にしてください。

編；ナニ？ 授業中に外が見たいだけだろう。バスじゃないんだぞ！

